

あなたの心にジャストミート 12月29日メッセージ
ワンネス感謝(ルツ4:9-10)

2019年が終わります。年末には一年を振り返って多くの感謝をして、締めくくろうとします。たしかに感謝は、人を健全にしますが、私たちはまず優先して感謝すべき内容があります。信者だけに可能な感謝、イエス・キリストにあって神様とワンネスになった祝福を感謝することが、一年の締めくくり求められることです。自分がイエス・キリストにあって神様とワンネスとなった、すばらしい神様の作品であることはなにがあっても変わらないことです。その感謝の上に立って次に進んでいくことができます。きょうの聖書箇所では、いろいろなことがあったのですが、ボアズがルツを妻として迎える場面です。これは、教会がイエス・キリストと結婚してワンネスとなる象徴です。

人間が神様と離れることは、どれほど悲しいことなのかを確認しましょう。人は唯一神のかたちとして創造されました(創世記1:27)。土で人のかたちを造り、鼻から息を吹き込まれました(創世記2:7)。それは、三位一体の神様が聖霊を通して人間の中に入り、ワンネスとなられたことです。本来の人間は、神様とワンネスでした。それが人間です。しかし、神様に罪を犯して、神様から離れ、神様の霊が人間を去りました。その時から人間は人間でなくなり、すべての人は神様とのワンネスが壊れてしまったのです(ローマ3:23)。罪過と罪の中で生き(エペソ2:1)、ワンネスが壊れて死んだ人間には、可能性はまったくなく、神様を知る知識も感覚もまったくなくなりました。生まれながら御怒りを受けるべき子(エペソ2:3)となり、地獄しかない、墮落した存在になりました。そして、悪魔に従い、悪魔が作った世の流れに従うしかありません(エペソ2:2)。悪霊に仕えることであるとも知らず、栄光の神様を獣に変えておがむようになりました(ローマ1:23)。心、肉が壊れ、人生が崩れ、人間関係、家族、すべて壊れるしかなくなりました。100%サタンの奴隷になって生きるしかない

のです。死ぬことと死後に裁きをうけること、永遠の滅びに行く運命から出ることはできません。子孫にまでのろいが受け継がれていきます。これが、神様とのワンネスが壊れた姿です。

そのような人間に、**神様は神様に会おう道、イエス・キリストを与えてくださいました。**唯一の道であり、いのちであるイエス様が十字架で血を流して死に、よみがえられて、神様と出会いワンネスの祝福を回復できるように「すべてを完了」されました(ヨハネ19:30)。唯一の道であるイエス・キリストを信じると、滅びの運命の人は十字架で死に、キリストが生きる者として変えられます。義人は信仰によって生きるのです。神様はなににも要求され

ません。ただ唯一の道、イエス・キリストを信じる者は、すべて新しくなります(Ⅱコリント5:17)。そして、どうしようもない死と罪の滅びの原理から完全に解放されます。そして、神様が宿る神の神殿となります。それがワンネスです。善人になるのではなく、**神様とひとつとなる**のです。「わたしが父の中に父がわたしの中におられるように、彼らもわたしたちの中にいるように」(ヨハネ17:21)と言われたように、霊的な事実としてひとつとなり、三位一体の神様と切り離せない存在となります。生まれてもないのに、すでにキリストとともによみがえらされて天のところに座するようにしてくださいました(エペソ2:5-6)。私たちがいるところにイエス・キリストがおられ、イエス・キリストがおられるところに私たちがいるのです。存在そのものがつくり変えられたのです。イエス様が長兄で、私たちはイエスのかたちとなりました(ローマ8:29)。義とされ、栄光に富んだ者に造り変えられ、神様とワンネスとなったのです。自分の評価を肉や過去ごと、人との比較によるまちがっている考えでだまされないようにしましょう。

キリストを信じると、獣の人生から、**神様とワンネスとなる人間の人生に変わります。**それゆえ、



イエス様がなされたこと以上のことができ(ヨハネ13:12)、イエス様の名によって悪霊を追い出し、蛇をもつかみ、新しいことばを語り、病人に手を置けばいやされます(マルコ16:17-18)。このワンネスの祝福は、どんなものも切り離すことはできません(ローマ8:39)。このワンネスの祝福を感謝するならば、どんなことがあっても圧倒的な勝利者となります(ローマ8:35,37)。なにも問題になりません(ローマ8:28)。すべてのことを働かせて益としてくださる、すべてが答えとなる人生になります。四方八方から苦しめられる土の器でも内に宝のイエス・キリストがおられます(Ⅱコリント4:7-9)。最終的に、絶えず祈り、いつも喜び、すべてに感謝できるようになります(Ⅰテサロニケ5:16-18)。そして、みことばに従い、契約の旅程を突き進むようになり、サタ

ンがいちばん恐れる存在として生きていくようになります。

神様とワンネスの祝福を感謝することを土台にしてスタートしましょう。そうしていると、**教会のワンネスの祝福がわかるようになります。**その結果、**現場と私が神様とワンネスになります。**いまだにさまよっているたましいに、神様が神様とのワンネスの祝福を伝えられるのを見て、体験するようになります。本当に感謝して、心配、不平不安、憎しみ、恨みなどは恥ずかしくなる、神様が喜ばれる自分になっていることがわかります。自分が自分であることをあきらめ、放棄することが信仰です。新しい自分になっていることを存分に味わうことをお祈りします。

(<http://jremnant.com>に音声と動画が出ています)

ルツ記4:9-10

なるほど/一年の終わりを飾る最高の言葉は感謝なので、振り返って感謝すべき多くのことを思い起こすは大切である。しかしそれより先に、神様とワンネスにされた祝福に感謝するとき、契約の旅程を歩いていく勝利の新年を迎えることになる。ならば/どんなことにも奪われないイエスの中にあるワンネスの祝福を深く黙想しよう。教会のワンネスの祝福が見え、現場で神様が造られるワンネスを体験するほど…

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文(2019年12月29日)

1部礼拝: いちじくの木事件(マコ11:20-25)

私たちの教会が24時237多民族現場、いやし現場、レムナントサミットを育てる神殿を準備するようにされて感謝します。神様がこの時代に願っておられる時代的な契約を握って、新しい神殿を通して時代的な答えを味わいますように。山を動かして海に入れることができる神様の絶対能力を信じて、絶対契約を握って絶対答えを味わいますように。神様がくださった恵みをいつも考えて、他人のとがを許す問題解決の契約を握って、必ず問題解決の答えを味わいますように。一生最後の機会を握りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝: 御座に座られたキリストのみわざ(マコ16:15-20)

神様が今私に願っておられる信仰と世の国とサタンの国、神の国を知る世界観を持って、カルバリの丘、オリーブの山、マルコの屋上の間のみわざを体験しながら、世界を生かすようにされて感謝します。私がすべき重要な働きが何かを知って、その働きを果たすように準備した力を味わいますように。実際にすべての権威といやしの約束、神の国の内容を持って世の中を生かしますように。御座の権威をもってともにおられて、しるしがある奥義を持って証人として立ちますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。